

和光の緑と湧き水だより Verda 123号

NPO法人 和光・緑と湧き水の会 会報発行 2013年新年号 代表理事 高橋絹世 (462-9912)
 身近な自然を知り親しみ守ろう <http://wako-wakimizu.org/>
 会の活動スケジュール表(予定の所は変更もあります。問合せ下さい) (048-462-9912 高橋)

| 25年 | 全体会 | 新倉ふれあいの森 | 白子・大坂ふれあいの森(地域の会と協力して) | 和光樹林公園 |
|-----|---|----------------------------|---|-----------------|
| 1月 | 19日 新年会 12時半～ 新倉地域センター | 19日 竹切り 間伐 | 10日 富沢湧水 17日 大坂ふれあいの森 | モニタリングまとめ |
| 2月 | 3日 湧き水サミット 南西部交流まつり・富士見 12日 大坂ふれあいの 森セミナー (共催) | 16日 竹林、 斜面林保全、 貴重種観察 | 7日 富沢湧水保全 12日 大坂ふれあいの 森セミナー 21日 大坂ふれあいの森 | 白子川水辺、樹林公園、植樹予定 |

1. 低炭素まちづくりフォーラム in 埼玉・跡見学園で開催 11月25日

- 「低炭素まちづくり」とはどんな街創りなのでしょう。それを解き明かし、人と生き物の共生する生物多様性保全の方法として・当会の活動を高橋勝緒さんが紹介しました。6月から渡辺康三さんが準備委員に加わり準備を進め、当日は多方面の環境を学ぶ有意義なフォーラムとなりました。



2. 朝霞宿舎跡地の「朝霞の森」オープン記念シンポジウムにパネリスト参加

- 朝霞の森は樹林公園の自然環境に共通するところがあります。その樹林公園の「ドングリの森づくり」を10年前から行ってきた経験を参考にさせていただくと、今回も高橋勝緒さんがパネリストとして発表しました。自然と共生した森づくりについての実践例としてここでも高く評価されました。



3. 和光の富沢湧水や樹林公園、新倉ふれあいの森保全



- 富沢湧水は今年多くの観察者を迎えました。皆さんの保全活動がそれを支えています。水路、落ち葉、石垣、様々な形の湧水環境保全は継続が必要です。貴重な植物や生き物が住め、人々が水辺に触れあえる特徴を捉えて、地権者の了解のもと継続して活動できたことに感謝、大切な自然を守って後の世代に残していきたいところです。



- 樹林公園ヒロハアマナ保護や、ドングリの森づくりは、機械による草刈りから自然の植生を守るため大切な活動は、生き物、特に昆虫たちの棲家を壊さないような保護と、樹木の保全、環境整備など、広い視野、経験を活かしています。絶えず成長する樹木や衰退していく樹木の補植も必要になってきました。まさに広範囲な「森づくり」が望まれています。



- 新倉ふれあいの森では、斜面林、竹林、貴重種の保護が大切ですが、近隣に住む人達への配慮も重要です。都市整備課の上原氏も8月から加わり進められています。森と接する石垣上部に成長したアカメガシワをようやく切り出しました。斜面のイヌシデには幹の腐食が見られ、年度内には剪定と適切な処置がほどこされる予定です。冬には竹の間伐も行います。写真は新倉ふれあいの森でにぎわう観察会